

PTA活動紹介		高P連受付番号	
PTA(学校)名	愛知県立昭和高等学校	部門	1
活動テーマ	『昭和高校 かえていくもの・かわらないもの』(三者座談会)		
キーワード	昭和高校らしさ	親の想い	子どもの想い
開催日	2018年11月2日(金)		
場所	昭和高校内特別教室(3学年毎に分かれて実施)		
時間	午後2時45分から4時30分		
参加者	保護者(21名)、生徒(55名)、教員(14名)		
趣旨	<p>保護者、生徒、教員が三者三様の意図で臨んでいる。</p> <p>【保護者】昭和高校の学校生活の実態や生徒の意識を理解するとともに、教育活動への参画意識を高める。</p> <p>【生徒】親や教師と本音で話し合うことによって、広い視野と他者の気持ちや考えを理解し思いやることの大切さを身につける。</p> <p>【教員】校外や家庭での生徒の実像を知り、生徒理解をより深める。</p>		
活動ポイント	保護者と生徒はペンネームなどを用いて素性から離れ自由に話し合う。実の親子間ではなかなか聞きにくいそれぞれの本音を聞くことができる。教員は保護者と生徒のつなぎ役となり、会の円滑な進行に貢献する。		
主体委員会名・講師名等	生徒指導委員会(通称:ハッピースクールライフ委員会)		

#### 【事前準備】

- 1ヶ月前: PTA生徒指導委員会で事前打ち合わせ
  - 全体テーマ/学年別テーマ設定  
全体テーマ『昭和高校 かえていくもの・かわらないもの』
    - 1年生「昭和高校に入ってみて今の生活どう?」
    - 2年生「昭高生もあと半分—これからの過ごし方どうしますか?」
    - 3年生「高校生活の今までと将来について」
  - 進行方法の確定  
時間配分及び構成、名札の形式、机及び参加者の配置、司会者と書記
  - 申し合わせ事項  
「昭和らしさとは何か?」からスタート。話が様々な方向へ発展してもOK。結論を出す必要はない。
- 2週間前: 参加生徒の募集と保護者の出席確認
  - 各クラスで担任が座談会の趣旨を説明し、参加生徒を募る。各クラス2名を基本とする。

#### 【当日】

- スケジュール
  - 2時45分~ : PTA役員、生徒指導部担当者、各学年副担任が集合し打ち合わせ
  - 3時15分~4時30分(1時間15分) : 三者座談会
- 参加者
  - 1年生 33名(保護者8名、生徒20名、教員5名) 2グループ展開
  - 2年生 30名(保護者8名、生徒18名、教員4名) 2グループ展開
  - 3年生 27名(保護者5名、生徒17名、教員5名) 2グループ展開
- 進め方
  - 各グループで生徒指導委員が中心となり、司会・書記を行う。



当日の準備

#### (4) 座談会の様子

##### ➤ 1年生

1年生は生徒も保護者も初座談会なので皆緊張した雰囲気が始まりました。1年生ならではのフレッシュで素直な話をしてくれました。先生方も生徒が話しやすいように自分の高校時代の話をしてくれたりして、三者がしっかりと意見交換できました。



##### ➤ 2年生



様々な意見を聞くことができましたが、ほとんどの生徒が「これまでの一年半、十分に高校生活を満喫したので、これからの一年半はしっかり勉強に取り組みたい」との(共通な)意見を持っていました。期待しています。

##### ➤ 3年生

昭和高校での学校生活を振り返りつつ、進路や将来についての希望を話し合いました。笑い合っただけの座談会であったので、とても楽しい時間を過ごすことができました。



#### 【事後】

- アンケート結果(抜粋)
  - (生徒)
    - 周りの友達との共通点を見いだせて安心した。逆に、友達や保護者、先生と考えが異なっているところがあり、参考になった。(1年生)
    - 親に当たり前のようにしてもらっていることは、当たり前のことでなく、とてもありがたいことであると分かった。(1年生)
    - 普段気になっている些細なことを親の立場、先生達の立場からあらためて話を聞くことができとても勉強になった。(2年生)
    - 「自分で決めたことをどう頑張れるか」という他の生徒の意見を聞いて、悩んで決めた自分の進路にも自信が持てた。(3年生)

#### (保護者)

- 自由を「自分勝手」とはき違えているのではなく、自己責任の上のものであることを自覚していて安心した。(1年生)
- お互いが無防備な状態での話し合いは新鮮であり、刺激になりました。(2年生)
- きちんと現状を踏まえた上で、自分で考え行動している様子がうかがえる発言が多く、自主性のある生徒が多いと感じました。(2年生)
- 自分も本校で青春を謳歌したかったと思うくらい、生徒は皆素晴らしい日々を送っている。(3年生)
- 親ってそういうものか、と大人になって思い出してもらえると嬉しい。(3年生)

#### (2) PTA会報「たまみづ」で活動内容や感想を報告



たまみづ 第119号  
2017年 12月18日 発行

たまみづ 第116号  
2016年 12月16日 発行

<b>PTA活動紹介</b>		高P連受付番号	3
PTA(学校)名	愛知県立惟信高等学校PTA	部門	1
活動テーマ	PTA交通安全指導		
キーワード	交通マナー		
開催日	平成30年6月25日(月)		
場 所	惟信高校の門付近、周辺の交差点、横断歩道		
時 間	10:00～12:00		
参加者	PTA生活部員		
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の交通マナーの向上をはかる</li> <li>・地域の清掃も行う</li> <li>・教員、保護者間の情報交換をはかる</li> </ul>		
活動ポイント	安全に登下校するために大切な行動を改めて生徒に認識させる		
主体委員会名・講師名等	PTA生活部会		

交通安全指導のポイントは次のとおりです。  
 ・携帯電話の操作やイヤホン、並列走行をしない。  
 ・少し下り坂になっている正門から飛び出さない。  
 ・交差点の斜め横断をしない。  
 ・横断歩道では左右確認を行い、自転車の左側通行を行う。

交通安全指導とともに、周辺の清掃も実施し、地域貢献活動を兼ねています。



本校の多くの生徒は自転車で通学している。  
 また、学校周辺の道路は歩道が十分に整備されていないにもかかわらず、交通量が多い。  
 並列での自転車走行やイヤホンの使用、携帯電話の使用は、事故につながりかねない危険性がある。  
 生徒への声かけで、安全な登下校を自ら実行するきっかけとしたい。



交差点での交通指導



正門での交通指導

終了後は校舎内の一室で軽食をとります。  
 生徒指導に関することや学校生活のことなど、保護者と生徒指導部の教員との間で質疑応答や情報交換を行います。  
 今回の反省会では、生徒の飛び出しについて学校で話をして指導してほしい、普段の家庭での指導も大切だと感じた、周辺のたばこのポイ捨てが目立った、歩きスマホが気になったなどの声がありました。  
 教員だけでなく、保護者の視点からの意見も活かしながら、生徒の安全な登下校の指導に取り組んでいくことができます。